

2021年（令和3年）6月30日



創立記念日にあたって

学校法人スコーレ
盛岡スコーレ高等学校
理事長 大津 至久
校長 及川 求

来る7月1日（木曜日）は、本校の88回目の創立記念日にあたります。

ふだんは、生徒のみなさんと一緒に本校の歴史を振り返る機会をつくることができませんので、今回は、はじめに、私たちの学園の主な歴史を振り返ってみようと思います。

- ・昭和 8（1933）年 本校の前身「盛岡友の会生活学校」の創立（場所：盛岡市菜園）
- ・昭和 24（1949）年 「盛岡生活学校」が各種学校として認可される
- ・昭和 36（1961）年 高等学校として認可され「向中野学園高等学校」が誕生
- ・昭和 43（1968）年 調理科の設置（昭和 54 年には普通科が設置）
- ・昭和 63（1988）年 制服を廃止し、服装を自由化
- ・平成 10（1998）年 「盛岡スコーレ高等学校」へと校名変更、総合学科に改編
- ・平成 12（2000）年 調理科にはじめての男子生徒入学
- ・平成 13（2001）年 総合学科全体で男女共学に移行
- ・平成 16（2004）年 アリーナ、教室棟、事業部、男子棟が完成

制服が廃止されて30年以上もたっていること、当時にしてみれば、かなり思い切った先進的な取り組みだったことと思います。また一方では、90年近い歴史の中で男子生徒が入学するようになって、まだ20年程度しか過ぎていないことなど、なかなか面白い学校の歴史にも気付くことができると思います。

例年、本校では、この日に合わせた記念行事として、本校にゆかりのある方の講演会やコンサートなどの会を実施しているところですが、今年度は、7月1日に都南文化会館（キャラホール）をお借りして「芸術鑑賞会：学校寄席」を行うほか、7月5日（月曜日）には、いつもの礼拝の時間を利用して「卒業生講話」を行うこととしています。

「学校寄席」では、コロナの影響でいつもの学校行事ができないなど、さまざまな制約の下で、心の中にたまりがちなストレスを吹き飛ばす笑いを提供してもらえるものと思います。

また、「卒業生講話」では、平成29年3月に本校を卒業した若い先輩から、大学での生活や、その後の学校の先生としての生活ぶりについて、思いのこもったお話をさせていただきます。

それぞれの機会が、生徒の皆さんにとって、今年度の学校の目標「自分再発見：自分自身と学校の良さに気付き直す」のためのきっかけとなり、「ピンチはチャンス：みんなの知恵と力でコロナに負けない工夫とチャレンジを生み出す」に結び付くようにと願うものです。